

第 98 回シンポジウム「マグネシウム材料の新展開」 ～マグネシウム合金の研究開発の現状と将来展望 女性研究者・技術者の活躍～

マグネシウム合金は比強度が高く、減衰能が優れており、輸送機器等の軽量化に対して有望な材料であると考えられています。近年、自動車および鉄道車両への適用に向けてマグネシウム合金の適用が注目されつつあり、研究や技術開発が盛んに行われています。本会では、2003年に第72回シンポジウム「マグネシウム材料の新展開」を開催しましたが、その当時に比べて研究成果および技術開発が大幅に進歩したと考えられます。そこで本シンポジウムでは、将来の女性研究者および技術者の活躍への期待も込めて、マグネシウム合金の研究開発を専門にされている女性研究者および技術者の方から、その現状と将来について解説いただきます。マグネシウム合金の研究や材料技術に関心のある、多数の方々のご参加をいただきますようご案内致します。

主 催：一般社団法人軽金属学会

後 援：公益財団法人軽金属奨学会

協 賛：日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、自動車技術会、日本ダイカスト協会（依頼中）

日 時：平成28年6月3日（金） 10:00～17:05

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス55号館N棟1階大会議室（東京都新宿区大久保3-4-1）

交 通：東京メトロ副都心線「西早稲田駅」徒歩1分、JR山手線「高田馬場駅」徒歩15分

定 員：100名

参加費：正・維持会員15,000円 学生会員1,000円 非会員25,000円 学生非会員6,000円（協賛学協会員は会員扱い）

申込先：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>よりお申込下さい。受講票、請求書等をお送りします。

問合先：一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 TEL: 03-3538-0232 FAX: 03-3538-0226）

プログラム

10:00	開会の挨拶	
10:05～11:05	1. 「ミクロ組織制御による耐熱マグネシウム合金の機械的性質の改善」 主にマグネシウム合金の高温強度について、粒界・粒内それぞれの強化に関してその強度改善効果を検討した結果を紹介する。	富山県立大学 鈴木 真由美
11:05～12:05	2. 「マグネシウム合金展伸材作製のための鋳造および熱処理技術」 合金組成や冷却速度により変化する金属組織を鋳造手法と共に示し、展伸材加工を容易とする熱処理組織制御技術を紹介する。	権田金属工業株式会社 伊藤 友美
12:05～13:05	昼食	
13:05～14:05	3. 「マグネシウム展伸材の製造技術および研究開発」 展伸材を中心としたマグネシウム事業の紹介と、現在取り組んでいる研究開発に関して紹介する。	不二ライトメタル株式会社 佐々木 美波
14:05～15:05	4. 「生体内分解性医療用デバイスの開発に向けたマグネシウム合金の機械的性質の改善」 生体内分解性医療用デバイスの開発に向けた、マグネシウム合金の機械的性質の改善を紹介する。	神戸大学 池尾 直子
15:05～15:20	休憩	
15:20～16:20	5. 「マグネシウム合金プレス成形加工製品の表面処理」 近年実用化されたプレス成形加工製品の表面処理と、マグネシウム本来の金属光沢を実現した表面処理について解説する。	株式会社カサタニ 小原 美良
16:20～16:30	休憩	
16:30～17:00	6. パネルディスカッション「マグネシウム合金の実用化への課題と展望」 材料エキスパートから見た課題・将来展望について	司会 株式会社TYK 大島 智子
17:00～17:05	閉会の挨拶	

（世話人：名古屋大学 小橋 眞，(株)TYK 大島智子，(株)総合車両製作所 石川 武，(公財)鉄道総合技術研究所 森 久史）